

令和 2年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	徳繁 久美子
	全体計画						経費区分		-		内線	3335
事務事業名	11703 予防接種事業（市単独実施）											
所 属	100600 健康福祉部・健康づくり課											
施 策	01010100 健康づくりの充実											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	040102 衛生費・保健衛生費・予防費										
	事業	020000 予防接種事業（市単独実施）										
事業目的						事業概要・効果						
集団生活等での感染症を予防し、重症化を防ぐためインフルエンザ予防接種費用助成を行う。						0歳～15歳(中学3年生)のインフルエンザ予防接種に対し必要回数1回につき1,200円(平成26年度までは1,000円)の助成を行う。市民税非課税世帯・生活保護世帯の者に対しては全額助成を行う。						

PLAN-DO
年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
こどものインフルエンザ予防接種助成	こどものインフルエンザ予防接種費用助成
平成29年度 実績	平成30年度 実績
こどものインフルエンザ予防接種費用助成 接種率50.5%（延べ接種回数/延べ必要接種回数）	こどものインフルエンザ予防接種費用助成 接種率53.8%（延べ接種回数/延べ必要接種回数）
平成31年度 実績	令和 2年度 予定
こどものインフルエンザ予防接種助成 接種率59.4%（延べ接種回数/延べ必要接種回数）	こどものインフルエンザ予防接種助成

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成31年度 決 算	令和 2年度 予 算
事業費		8,753	8,363
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	4,000	4,000
一般財源		4,753	4,363
人員数(人)	正規職員	0.1	0.8
	嘱託職員	0.1	0.1
	臨時職員	0.1	0.1
人員コスト	正規職員	726.5	5,812.0
	嘱託職員	282.9	282.9
	臨時職員	129.8	129.8
	計	1,139.2	6,224.7
市民一人当たりの経費		0.2	0.3
総額		9,892.2	14,587.7

(単位：千円)

平成31年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	172	消耗品16、印刷製本費140
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	8,581	ワクチン接種費用助成8,415、郵便料166

(単位：千円)

令和 2年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	172	消耗品29、印刷製本143
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	8,191	ワクチン接種費用助成8,000、郵便料186、その他5

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	インフルエンザの感染拡大と重症化予防に有効	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	インフルエンザは集団生活から感染拡大の危険があるため、保育園児や小中学生を対象に実施していることは有効	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	インフルエンザの重症化を防ぐには必要な事業である。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

インフルエンザの重症化を防ぐため必要な事業である。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）
-----------	-----------

総合評価コメント

インフルエンザの重症化および感染拡大の予防として有効

2次評価コメント

新型コロナウイルス感染症の症状と類似した点があるため、医療体制維持のため施策の検討が必要

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--